6 整備の方向性

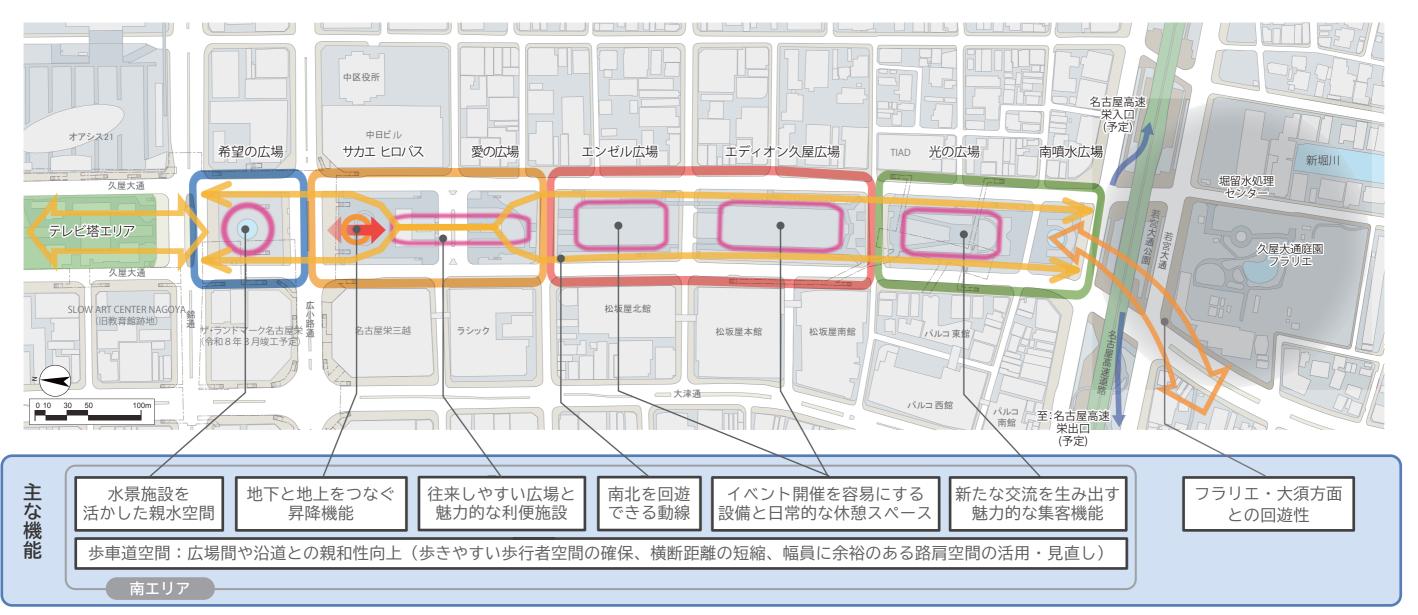


(2) ゾーニングと主な機能

「新たな創造が生まれるウォーカブルタウンのコア」の実現に向けて、南エリアの4つのゾーンで特性に応じた再整備を図ります。 あわせて、堀留水処理センター上部空間(久屋大通庭園フラリエ含む)や若宮大通公園の周辺一帯について、栄地区と大須地区をつなぐ連携エリアとして位置付けます。

【空間活用方針と主な機能のイメージ】

南エリア 空間活用方針 ゾーンA ゾーンB ゾーンC ゾーンD 栄・大須の連携エリア 水と緑のある 南エリアの起点となる 日常的ににぎわう 新たな交流が生まれる 栄と大須の間の 開放的な空間 一大イベント空間 多目的空間 人の流れをつなげる空間 メインゲート空間



20 21